



図書館だより



No.8

2015.12.01.(火)

ノートルダム学院小学校

今年もあと1か月

12月になりました。2015年も残り1か月です。この1年どうでしたか。日々、たくさんのでき事に出会い、時には立ち止まり、また乗り越えたりととても思い出深い1年になったのではないのでしょうか。そのなかで、どれだけの本と出会うことができたでしょう。またどの本が自分にとって一番心に残りましたか。

先月には、読書集会がありました。「子どもたちにこの本をぜひ読んでほしい!」という先生の思いがたくさん詰まった「ND読書100選」。全部読み終わった人やほとんど読めた人達がたくさん表彰されていましたね。おめでとう! その立ち姿を見て、とても嬉しく思いました。

表彰される機会は、皆さん誰しもが持っています。自分の幅を広げるためにも、自分の好きな本や薦められた本等、広く深く、読み進めていってほしいと願っています。



12月生まれの人



世界中の人々のほぼ大半が知っている「ディズニー」。今では、ディズニーワールドやディズニーシー、なかでもディズニーショップは各国に多数あります。そのメインキャラクターであるミッキーマウスは、創設者「ウォルト・ディズニー」によって創られました。

幼い頃から、絵を描くことがとても好きだったウォルト。父の経営を助けながらも、好きなことには貪欲に力を注いだといわれています。その後、自分の手で道を切り開きたいと、漫画家からアニメーターへと転身。それが今の「WALT DISNEY」につながっているのです。

皆さんが一番好きなディズニーキャラクターは誰でしょうか?聞いてみたいですね。

なぜ食べる? 年越し蕎麦は

1年の締めくくりに有名な「年越し蕎麦」。

「次の年へと縁起を担ぐ(持ち越す)」という深い意味合いがあるんだとか。「うどんもあるのになぜ蕎麦!?!」と思いませんか。麺のなかでも蕎麦は、細長く

作られています。このことから「長生きしますように」という願いがこめられているようです。また麺が切れやすいのも特徴。「悪いことが続きませんように」という願いも同時にこめられているようです。

この年越し蕎麦は、地域によって入れる具材は違います。

本校がある京都では、「鱈そば」が有名。関西のだしに鱈を甘露煮にし、刻んだ九条ネギをかけて食べる…最高の味です。

京都以外に住んでいる友達や知り合いの人はどうな蕎麦を食べているのでしょうか…知るのもおもしろいですね。

「読書の木」に葉をつけよう!

先月末から図書館前コーナーの掲示板に、読書の木を貼っています。「これは何ですか?」、「いつ作ったんですか?」等、それに気づいた人達が図書館までたくさん質問をしに来ていました。

「読書の木」とは、皆さんのお気に入りの本を紹介するためのもので、全学年を対象にしています。葉(画用紙で形作ったもの)に本の見どころ等を書き、木の枝やあちらこちらに貼っていきます。

まずは、「本が大好き!」な図書委員の人達に書いてもらいました。どれも読みたい!と思う本ばかりを紹介しています。くわしくは、読書の木にはっているお知らせ、もしくは図書館まで。皆さんのたくさんの読書の葉を待っています!